

北朝鮮の IT 政策

— 半導体、ソフトウェア開発、ネットワークそして人材育成 —

○氏名 小宮山 功一郎 (Koichiro Komiyama)

Keywords : 北朝鮮、金正日、IT 政策、情報通信政策、サイバー攻撃

1 背景、目的、方法

「北朝鮮発のサイバー攻撃」についての報道が増えている。同国のサイバー攻撃能力は核開発やミサイル開発と同様に不明な点が多く残る。本研究は、同国のサイバー攻撃能力を理解するための土台として、その IT 政策を振り返る。特に 1980 年からの技術導入の過程に着目して明らかにする。半導体製造、受託開発などのソフトウェア産業振興、情報ネットワーク整備(光ファイバー網、インターネット、携帯電話)そして人材育成の 4 つの分野についての検討を行う。

研究は文献調査の結果を主に、一部インタビューを行った。その閉鎖性から、北朝鮮の IT 政策に関する一次資料は少ない。諸外国の北朝鮮研究などの二次資料を積極的に用いた。

2 結果

資料調査から、北朝鮮における IT 導入の歴史を明らかにした。当初、北朝鮮はハードウェア製造大国となることを目指した。その後、この目標を密かに捨て、ソフトウェア産業振興へと舵を切った。より具体的には、インド型のオフショア開発拠点を目指したことを指摘する。

情報ネットワーク整備については、検閲などを通じて市民の言論をコントロールすることが政策上の課題であった。加えて、経済制裁や誘致した外資企業を巡る利権などの要因により国内への導入が難航した様子を明らかにする。

3 結論

北朝鮮は、諸外国からの支援を引き出しながら、2000 年代中頃までに多くの技術の導入を終えた。この時期は北朝鮮国内で飢饉が深刻化した時期と一致する。飢饉の中にあっても、前最高指導者の金正日(キム・ジョンイル)は将来を見据えた投資を続けた。

北朝鮮は現時点で国内 IT 産業を創出するに至っていない。北朝鮮国内の IT 技術者の余剰は、サイバー犯罪の増加といった弊害を引き起こす恐れがある。

【主要参考文献】

- [1] Kretchun, N., Lee, C., T, S. (2015) “Compromising Connectivity, Information Dynamics Between The State And Society In A Digitizing North Korea,” *Intermedia*
- [2] Mansourov, A. Y. (2011) “North Korea on the Cusp of Digital Transformation,” *Nautilus.org*, Available at: http://nautilus.org/wp-content/uploads/2011/12/DPRK_Digital_Transformation.pdf (Accessed: 31 August 2018)
- [3] ウラジミール (2003) 『サイバー北朝鮮』 白夜書房